

平成30年度 紀伊小学校 学校運営計画書(スクールプラン)

校長名 北 畑 佐 敏

作成日 平成30年 4月 20日

和歌山市学校教育指針

- 確かな学力の育成
- 道徳教育の充実
- 健やかな体の育成
- 特別支援教育の充実
- 不登校・いじめ問題の解消
- 子供の安全確保
- 地域と共にある学校づくりの推進

保護者・地域の願い

- ◇子供の学力の定着
- ◇思いやりある子供に育てほしい
- ◇明るく楽しい学校にしてほしい
- ◇地域に誇りをもってほしい

【学 校 教 育 目 標】

心豊かにたくましく生きる子供を育てる

【めざす児童像】

- ・ 明るく健康でたくましい子供
- ・ 人格を尊重し互いに敬愛の心をもつ子供
- ・ 自主的で創造力の豊かな子供
- ・ 自ら進んで実践する子供

前年度の学校評価

- △研究授業に積極的に取り組んだ
- △個に応じた指導の一層の充実を
- △教育活動の情報発信に努めていた
- △地域とのつながりをさらに強く

児童の実態

- 明るく素直
- 与えられた仕事や指示されたことは真面目に努力する。
- 粘り強さに欠けたり自ら進んで実践したりする態度が十分でないところもある。

重点目標

確かな学力の向上

- ◎基礎学力の向上を図る
- ◎教員の授業力の向上を図る
- ◎家庭学習の習慣化及び充実
- ◎読書活動の推進

豊かな心の育成

- ◎道徳教育・人権教育の充実
- ◎自己肯定感や自尊感情が高められる取り組みの推進
- ◎良好な仲間づくりの形成

健やかな体の育成

- ◎基本的な生活習慣の確立
- ◎運動に親しむ基礎を育てるとともに体力向上を図る
- ◎危機回避能力の育成

地域とともにある学校

- ◎積極的に情報を発信する
- ◎地域や保護者からの提言の吸収に努め学校経営に生かす
- ◎地域の資源活用を進める

具体的な取組

- ◇「和歌山の授業づくり基礎・基本3か条」を徹底する
- ◇全学級で算数科等を中心に支援体制をつくり、個に応じた指導・支援を行う
- ◇「家庭学習の手引き」を活用し、家庭学習の大切さを啓発する
- ◇各学年で研究授業を行う
- ◇読み聞かせを推進し、図書室を積極的に利用する

- ◇教科書等の教材以外に、外部から講師を招く機会を持つ
- ◇自主的に委員会・児童会活動に取り組む態度を育む
- ◇ペア学習、集会、学級会等で関わり合う機会を持つ
- ◇紀伊幼稚園・校区内の支援学校との交流を定期的に行う
- ◇いじめアンケートを年間、複数回実施し、いじめの早期発見・早期対応に努める。

- ◇「早寝、早起き、朝ごはん」を推奨する
- ◇大休憩に全校チャレンジ（2学期は短なわとび、3学期は10分間走）を実施する
- ◇体育科の授業の充実を図る
- ◇交通安全教室や避難訓練を計画的に行い、危機回避能力を育成する

- ◇HP、各種便り等を通して学校の情報を発信する
- ◇地域の文化まつりや夏祭りへの協力・参加体制を整える
- ◇地域の見守り委員の方を招き「ありがとう集会」を開く
- ◇懇談会やアンケートから学校へのニーズをとらえる
- ◇ゲストティーチャー、読み聞かせボランティア等の人材、地域の自然・文化を活用する

指標

- * 児童アンケートで「毎日の勉強がわかる」を90%台にする
- * 県学習到達度調査で各教科、正答率が県平均を上回る

- * 児童アンケートで「学校が楽しい」の割合が昨年度より増える
- * いじめの解消率100%
- * 他校(園)と学期に複数回交流

- * 保護者アンケートで「早寝、早起き、朝ごはん」の定着90%に
- * 体力テストでは全国平均以上を目指し、下回った種目は強化

- * 保護者アンケートで「学校の様子がわかる」を90%台にする
- * 「ありがとう集会」は年間2回、外部講師は学期に複数回招く

◎：特に重点的に取り組むこと